

経膈手術を受けられる

(当日入院)

患者用クリニカルパス P 1 / 2

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

様へ

月日	月	日	月	日
経過	当日術前 (入院日)		当日術後	
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けられる ○治療に対する不安を表出できる		○性器出血が少量で、新たな出血がみられない ○創部痛 (下腹部痛) が緩和し、苦痛が最小限となる	
検査	・身長、体重測定		 ・採血 ・採尿	
食事	 絶飲食 朝食は自宅  		 朝より全粥食開始	
処置・観察	リストバンドを装着します (退院日まで)  内診します  時間になれば、看護師が手術室にご案内します <div style="border: 1px solid pink; padding: 5px; text-align: center;">  状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります </div>		手術後以下の挿入物、装着物があります ・点滴の管 → 点滴終了後、抜去します ・尿道カテーテル → 抜去し、排尿を確認します  内診で創部を観察、必要時処置を行います	
内服・点滴	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください		 以下の点滴を行います ・持続点滴 → ・抗菌薬	
行動・リハビリ	 朝 自宅で入浴してきてください  以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し  制限はありません		 午前中 全身清拭し、手術着からパジャマに着替えます  座位ができます  医師の許可があれば、歩行できます  尿道カテーテル抜去後はトイレで排尿できます	
説明	 主治医・麻酔科医より (外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について (必要時)  病棟・手術室看護師より ・入院生活について (患者用パス使用) ・手術について ・手術物品確認 (テープ式オムツ・ナプキン)  薬剤師より ・持参薬確認 ・使用薬剤について		 主治医より ・手術結果について  看護師より ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について	
			 主治医より ・退院後の治療計画、療養上の留意点について  看護師より ・早期離床について ・退院後の療養生活について (退院療養計画をお渡しします) ★次回受診日まで入浴禁止 (シャワー浴可)	

* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

13-D06-2 2023. 8. 7 版 京都第一赤十字病院

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い、計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

